

それから、一応一つ、本当は対馬の中で高齢者講習は1カ所、対馬市立巖原自動車学校の中で1カ所なんですけど、やはり北部から2時間もかけて自動車学校まで行くのは大変だということで、上県町で1カ所、出張して来ていただいております。行政もこれには講習の材料、あるいは備品は行政のほうに備えてあるというふうに思います。

その中で一つ、今、上県のほうは非常に多いんですね、高齢者の申し込みが。それで、回数、今、月に2回、午前3人、午後3人というような状況で巖原自動車学校はやっておるといことですが、なかなか申し込みが多くて、順番に回ってこないような状況も多々出ておりますので、そこら辺も今後自動車学校からの要望があれば対処をしていただきたいと思いますというふうに思います。

それと、この講習をする場所が非常にこう、本当は対馬で1カ所ですから、1カ所で久田の自動車学校に行くのがベターなんですけど、せっかくこの北部でやっておられるんで、その場所が2階で、高齢者が講習をするわけですから、2階で階段を上って大変なんですよ。

だから、上県町の公民館も空き室があるというふうに思いますので、そこら辺も今後考えられて、高齢者に優しいところも見せていただきたいなというふうに思います。それが私が前回言いましたヒマワリであってほしいということですから、何かここを全体を見て、ヒマワリの花を見たらわかりますよね。対馬全体を見比べて、平等に利便性を図っているんだというヒマワリの花ですから、そこら辺を鑑みながら今後、広い対馬で大変でしょうけど、かじ取りをやっていただきたいというふうに思います。

それでは、私の質問はこれで終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで春田新一君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は11時5分からとします。

午前10時48分休憩

午前11時04分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

8番、小田昭人君。

○議員（8番 小田 昭人君） おはようございます。会派、未来研究会の小田です。

私からは3つの質問をさせていただきます。場合によっては一問一答で質問をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

まず、主要地方道巖原豆敷美津島線の箕形—加志間の道路全般について質問をさせていただきます。この道路につきましては、過去何回か一般質問があつていますが、再度質問をしたいと思っております。

また、第11回国県道路等整備促進特別委員会が11月24日に開催されまして、ある程度の説明がっております。再度確認の意味で質問させていただきますので、御了承願います。

まず、入会林野の進捗状況につきましては、箕形地区が長崎県に平成27年7月24日に申請、長崎県の審査終了が平成28年11月17日に審査が終わったと聞いております。申請から審査終了までおよそ1年3カ月がかかっています。その後、登記事務に入るわけではありますが、入会林野の筆数など、登記完了日もさまざまだと思います。

内山2工区につきましては、審査完了から登記完了まで約11カ月を要しております。また、安神地区につきましては、1年8カ月の月日を費やしております。箕形地区が仮に審査終了から登記完了1年かかった場合、来年の12月ごろに登記完了となるわけではありますが、用地交渉の進捗状況、用地交渉の対象者は何人いるか、お尋ねします。

次に、加志地区の入会林につきましては、箕形地区より約1年間おくれるということを知っております。また、道路改良につきましては、トンネルを箕形―吹崎間に1カ所、吹崎―加志間に1カ所の計2カ所を掘る説明がありましたが、間違いないか、お尋ねします。

次に、市道玉調大山線の大山入り口から大山海岸までの道路についてお尋ねします。

地区住民の説明によりますと、車が通るようになってから半世紀に近い47年から48年になるのではないかということでした。最初の道路は砂利道でありましたが、現在の道路は路線が変更され、舗装もされていますが、いつごろ今の道路になったかは明らかではありません。現在の道路部分は名義変更がなされているかどうか、お尋ねします。万が一、名義変更がなされていない場合、固定資産税は減免または非課税となっているかどうかをお尋ねします。

次に、豊玉高等学校についてお尋ねします。

離島地区高校のあり方に関する意見交換が、27年8月27日に上対馬総合センター及び豊玉文化会館で開催されております。これは長崎県の県立高校改革の基本的な方針の紹介、豊玉高校の現状等々について説明があったと伺っています。

長崎県の説明では、豊玉高校については、定員40名に対し、2年連続して5月1日現在の第1学年の在籍者数が20名未満の場合は統廃合を検討する旨説明があつていますが、地元対馬市として統廃合にならないため、どのようなお考えをお持ちか、お伺いします。

また、保護者からは介護資格が取得できる専門学校等の新設要望に対し、長崎県は非常にハードルが高いと、こういう説明があつたと聞いておりますが、正看と福祉をミックスした専門学校の新設を働きかける気持ちは持っていないか、お尋ねします。

以上、よろしくお願ひします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 小田議員の御質問にお答えいたします。

初めに、主要地方道巖原豆殿美津島線の箕形—加志間の道路改良についてでございますけども、本事業は平成26年度から改良延長2,220メートル、総事業費約30億円で、平成33年度完了を目指し、着手しているところでございます。

平成27年度までの事業内容は、測量設計並びに地質調査等を実施し、本年度も引き続き橋梁詳細設計や軟弱地盤対策設計等を実施しております。本格的な事業着手につきましては、平成29年度から一部用地交渉に入る予定となっておりますので、用地並びに予算が確保できれば、平成29年度には吹崎工区から着手する予定であると聞いております。

なお、本年4月28日に吹崎工区、そして8月30日に箕形地区への説明会を開催し、両地区並びに地権者からも御理解をいただき、早期完成を図るよう要望を受けております。

市におきましても、早期完成を目指して積極的に働きかけてまいりたいと思っております。この中で、一部その用地交渉に入る予定と申しましたけども、この用地交渉が何人かという質問でございましたけども、あいにくちょっときょうはその資料を持ち合わせておりませんので、御勘弁いただきたいと思います。

そして、工事内容の確認でございますけども、主な構造物といたしましてトンネルが2本、300メートルと520メートルのトンネルが2本、そして橋梁等ということを知っているところでございます。

次に、市道玉調大山線につきましてでございますけども、本路線の改良は国道から大山地区までの区間を既存道路に比べてカーブを少なくし、幅員を広く、そして坂道を少なくすることが主なものでありました。改良には道路用地が必要となりますので、道路隣接地権者の用地提供の御協力を得まして、昭和51年度から事業実施されております。

市が取得した用地の名義変更がなされているかとの御質問につきましては、40年ほど経過しており、当時を詳しく知る者がいない状況でございますが、資料等を確認いたしますと、字図と現地の地番が合わない字図混乱の箇所、所有権移転登記が未了となっているようでございます。

また、固定資産税の減免または非課税措置は講じられているかとの御質問につきましても、当時の詳しい事情はわかりませんが、非課税措置がされておられませんので、早速非課税措置の手続を行うよう指示したところでございます。地権者の方には大変御迷惑をおかけしておりますけども、道路取得用地の所有権移転につきましては、対象地目が山林で、面積も大きく、おのおの一筆地の境界を調査測量しなければならぬために大きな事業となることから、国土調査実施後に所有権移転を進めさせていただきたいと思っております。非課税措置の手続を行うよう指示し、過誤納金につきましても調査を行っているところであります。調査の結果、過誤納金が判明次第、所定の手続により還付を行ってまいりたいと考えております。

3点目の豊玉高等学校についてでございますけども、平成28年度から離島地区小規模校の魅

力化事業、アイランド・チャレンジ事業によりまして、同校にも魅力化推進協議会を設置し、魅力化推進事業計画の取りまとめが行われることとなっております。同協議会は、地域の有識者やPTA、同窓会代表者からも、広く委員として参画することとなっております、地域の実情も踏まえた御意見が寄せられるものと考えております。現状の中、同校の通学対象区域のバスのダイヤ変更なども行った結果、一部の地域からの入学者がふえたとも伺っております。これは佐賀と水崎地区でございます。

しかしながら、同校は平成27年度からキャンパス校となり、教員も年々減り、県内でも最少の教員定数となったことは議員御承知のとおりであり、その状況を踏まえ、第2次対馬市総合計画においても、市内3高校の魅力化のための支援策を掲げております。

また、正看と福祉をミックスした専門学校の新設の働きかけにつきましては、公立学校による新設では、教員または講師の配置など人的な要因からハードルも非常に高いものとなっております。

一方、学校法人、医療法人等が経営する専門学校の誘致も想定されますが、少子化の進行により、島内卒業生だけでは安定的な経営ができる生徒数の確保が難しいものであり、島外からの学生受け入れに対する総合的な対策が求められることとなり、関係団体が一体となった協力体制の構築が必要と考えております。

現在設置されております魅力化推進協議会におきまして、県、市、学校並びに地域が連携し、さまざまな可能性を探りながら魅力化推進事業計画の取りまとめ作業中でありますので、その中、市ができることは積極的に支援を行い、地域においても魅力的な学校づくりに向け、県教委とのパイプを活用して存続に努めてまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 8番、小田昭人君。

○議員（8番 小田 昭人君） 箕形一加志間の道路の入会林の用地交渉は、既に交渉を行っているという解釈なのか、登記完了を待って、その後に入会林の分については用地交渉に入るのか、再度お尋ねをいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私が持っている資料につきましては、平成29年度から一部用地交渉に入るということをいただいておりますので、まだちょっとそこら辺がはっきりしておりません。また、振興局の当局のほうに問い合わせ、後でお知らせしたいというふうに思います。よろしく申し上げます。

○議長（堀江 政武君） 8番、小田昭人君。

○議員（8番 小田 昭人君） 担当の説明によりますと、登記完了後に用地交渉をするんだと、

このようなことを言うておりましたので、おかしいじゃないかと、既に入会林整備に入る前から現所有者はわかるわけです。まして、長崎県の審査終了が終わっとるわけですから、恐らく99.9%、そのままの名義変更になろうと思います。

だから、審査終了後から1年以上かかると思いますので、前もって用地交渉されて、そして登記完了と同時に印鑑を押すと、そのようなスピードでないと、ますますおくれれていくと思いますので、長崎県の事業ですから、対馬市の事業であればそのようにしていただきたいと思います。

それから、加志の入会については、箕形より1年後という、こういうことでよろしいですね。

次に、大山地区の道路につきましては、過去は無償貸与という話も聞くんですけど、私がこの一般質問の通告を出してから、美津島の行政センターに行ったところ、図面がありましたと、よって所有者もわかります、面積もわかります、すぐに非課税、固定資産税はですね。山林ですから微々たるものだと思いますけど、これが50年、60年過ぎますと、祖父、おやじが亡くなる。長男、孫の時代になると、自分の山もどこにあるかわからなくなると思いますのでですね。大体道路台帳が58年か59年ですか、できたのは。

だから、それ以前の市道も含めた林道、農道についても精査する必要があるんじゃないだろうかとは思っております。いずれにしましても、入会林野を入れるならば国土調査、かなりの時間を要しますので、道路部分だけでも、その境界なりをはっきりしていただきたいと思います。

それから、豊玉高校につきましては、海士町の教育行政の取り組みについて若干紹介したいと思います。

日本海の島根半島の沖合約60キロに浮かぶ1島1町の小さな島で、面積が33.52キロ平米と、27年の10月に政務調査に行っまいりました。昭和25年ごろは約7,000人近い人口でしたけど、平成22年10月の国勢調査では2,374人に減少し、超過疎化の町であります。3町村で唯一の高等学校が海士町にあります。平成20年ごろから生徒が激減し、閉校の危機に直面したそうでございます。

若者を島外に流出されれば島が沈没するという、こういう危機感から、海士町は学校連携の公営塾を平成22年の4月に創設をいたしております。全国から意欲ある生徒の募集に向け、高校に学生寮がありますので、寮費、食費の補助などをして、島留学制度を平成22年4月に新設し、こうした取り組みのさなか、平成22年度の卒業生は約3割が国立大学に合格、そして平成23年度の卒業生から初めて早稲田大学に進学したと、こういう話もしておられました。

現在は、関西、関東の県外からの入学志願者を調整しているとのことでもあります。驚いたことに、ここは幼稚園が恐らくないんでしょうね。保育所、小学校、中学校、教職員の連携教育の組織も立ち上がっております。

県立高校といっても、県任せではいけないと思います。やはり地元自治体がいかに若者を地元

に残すか、真剣に取り組むべきだと思います。海士町の取り組みについて、何か感想がありましたら市長の思いをお聞かせ願います。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 海士町についての私の感想ということでございますけども、私自身も海士町のほうには2回ほどいろいろと研修等で行かせていただきました。

その中で、山内町長さんともお話をさせていただいたところがございますけども、町長さんと職員が一体となって海士町の活性化のために頑張っておられるということに感銘を受けたところでございます。

そういう中で、特にこの隠岐島前高校の件も話を聞いたところがございますけども、ここはIターンの方たちの協力も受けながら、そういった特別の進学コース関係にも寄与しているという話も中で聞いたところがございます。

そして、海士町自体も寮費関係での助成をしているというようなこともお聞きしてまいりました。全国からこの取り組みについて研修に見えられているということでございますので、私たちといたしましても、こういったことを参考にしながら、先ほど申されましたように、この豊玉高校の存続につきましても魅力化推進委員会等とともに、一生懸命に最善策を検討してまいりたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 8番、小田昭人君。

○議員（8番 小田 昭人君） 豊玉高校の正看、福祉の学校、大体対馬の3つの高校で、今、正看を目指しておられる方が約、この三、四年、20名は下らないんですね。

そして、10年間は中学校の卒業生が320人程度、そして3つの高校に進学するのが二百数十名、よって、100名ぐらいが中学校を卒業してそのまま就職、あるいは島外の専門学校、あるいは普通の高等学校、特に鹿児島県の中学を卒業して、鹿児島県は最短5年で正看が取れます。なぜ鹿児島県が多いかと申しますと、国家試験取得後、その指定した病院に勤めれば5年間の月謝といたしますか、それが無料になるそうです。

だから、そこに魅力を持って、対馬からかなりの生徒が中学を卒業すると同時に行ってるということがございます。今、市長が言われましたように、この正看専門学校につきましては、医師会、あるいは医療法人、あるいは自治体、こういう専門でないと設置はできません。非常にハードルが高いかと思いますが、やはり生徒は親元から、親は自分のそばからという思いがあります。

それから、平成26年10月に中学生徒871人、保護者738人に意識調査を対馬市が実施しております。生徒の回収率が93.25%、保護者が79.1%と、非常に高い回収率でありましたので、市長ももう一回この調査結果を熟読されまして、生徒、保護者の思いを酌み取って

ただければと思っております。

それから、豊玉の入学者が、平成27年度が17名、26年度が18名、25年度が20名、24年度が13名、閉校の危機に陥る入学者でございますので、今、市長が言われましたように、豊玉町も組織をつくっておりますので、やはり対馬の中央ですから、ぜひ閉校にならないようにしていただきたいと思っております。

それから、さきに戻りますけど、箕形一加志間につきましては、26年度から一部局部改良をやっておられます。33年度を目標に長崎県も設定をしているということでありますので、まず用地交渉につきましては登記完了を待たず、今からでも遅くないと思っております。恐らく法務局も入会林だけが仕事ではございませんから、ほかの登記、長崎県につきましても入会林野整備は対馬市だけだということで、地方局で1回審査、そして本庁で1回審査するそうです。

入会林だけじゃないよと、私たちの仕事はほかにもありますということで、ほかのお仕事をしながら、入会林野の仕事もしておると、今言いましたように、安神は1年約8カ月間、これは筆数にもよりましょう。そういうことで、ぜひ早急な対応を進めていただきたいと思っております。

時間がありますけど、以上で私の質問は終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで小田昭人君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 昼食休憩といたします。午後は1時から再開します。

午前11時33分休憩

午後0時59分再開

○議長（堀江 政武君） 報告します。淵上清君から早退の届出があっております。再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。

7番、黒田昭雄君。

○議員（7番 黒田 昭雄君） こんにちは。新政会の黒田昭雄でございます。

それでは、通告に従いまして市政一般質問をさせていただきます。

初めの在宅就労の1点目につきましては、私の認識違いで取り下げをさせていただきます。また整えばさせていただこうかなと思っております。

それでは、空き家対策でまず条例制定についてを質問させていただきます。

市長は、初の所信表明のときに空き家の現実に大変ショックを受けたとおっしゃられました。ものすごい空き家が本市にはありますけれども、それが隣であつたらたまったものではないというのが人の心ではないでしょうか。